

令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

公益社団法人兵庫県歯科衛生士会

公I. 歯科衛生の普及啓発に関する事業（定款第4条第1号）

1. イベント事業

県民の歯科衛生に対する知識の向上を目指し、口腔健康管理等について普及啓発を行った。

- (1) 歯と口の健康週間事業 「歯っぴいスマイルフェスティバル」
 - ア 期 日 令和5年6月4日(日)
 - イ 場 所 ニッケパークタウン (加古川市)
 - ウ 内 容 歯みがき相談、パネルシアター、フォトコーナー、パネル展示、ゲーム等
 - エ 参加者数 264名
 - オ 出務者数 31名
- (2) 「兵庫県・丹波地域合同防災訓練」
 - ア 主 催 兵庫県災害対策課
 - イ 期 日 令和5年9月3日(日)
 - ウ 場 所 丹波市立柏原住民センター
 - エ 内 容 救護所設置運営および避難所における歯科保健指導訓練
- (3) 兵庫県医療職団体協議会合同研修会
 - ア 主 催 兵庫県医療職団体協議会
 - イ 期 日 令和6年2月23日(金)
 - ウ 場 所 兵庫県看護協会
 - エ 内 容 ①基調講演
②シンポジウム：肝炎をなくそう！～肝炎医療コーディネーターって？～
(4団体からの報告)
 - オ 参加者数 57名
 - カ 出務者数 3名

2. 健康公開講座

全身の健康を維持・増進させることを目的として、県民の歯科衛生の知識向上をめざして講座を開催した。

- ア 期 日 令和5年11月12日(日)
- イ 場 所 ラッセホール
- ウ 演 題 「外科矯正・歯列矯正治療から考える口腔習癖が及ぼす体への影響」
- エ 講 師 神戸大学医学部附属病院
講師 木本 明 (歯科医師)
- オ 参加者数 50名

3. 特別普及啓発事業

生涯を通じて、ライフステージに応じた口腔健康管理等の指導を行った。

- ア 期 日 令和5年4月～令和6年3月
- イ 場 所 6支部
神戸、阪神南、東播磨、北播磨、但馬、丹波
- ウ 内 容 集団指導、個別指導 等
- エ 実施回数 51回
- オ 出務者数 105名

4. 歯科衛生情報の提供

- (1) ホームページによる歯科衛生情報等の配信
 - ア 期 日 令和5年4月～令和6年3月
 - イ 場 所 兵庫県下全域

- ウ 内 容 歯・口腔の健康維持向上に必要な情報
- (2) 啓発用パンフレットの作成及び配付
 - ア 期 日 令和5年4月～令和6年3月
 - イ 場 所 イベント、公開講座などで配付
 - ウ 発行部数 3,000部

(3) 関連紙、冊子を通しての普及啓発活動

公Ⅱ. 歯科保健指導に関する事業（定款第4条第2号）

1. 口腔衛生に関するボランティア活動

小学校、障がい者(児)施設、高齢者施設において、適切な口腔健康管理を身につけて実践することができるよう、普及啓発を実施した。

- ア 期 日 令和5年4月～令和6年3月
- イ 場 所 兵庫県下全域
- ウ 内 容 ライフステージにおける歯科保健指導

2. 地域歯科保健に関する事業

地域住民の口腔衛生の向上を図るため、県下市町や郡市区歯科医師会と協力し事業を実施した。

(1) 休日歯科診療への協力、参加

各地域歯科医師会と協働し、救急の歯科診療と歯科保健指導を行った。本会会員は歯科診療補助や受付業務、歯科保健指導を担当した。

- ア 実施団体 (公社)神戸市歯科医師会
- 場 所 神戸市歯科医師会附属歯科診療所
- 出務回数 73回 出務者数 263名
- イ 実施団体 三木市歯科医師会
- 場 所 三木市総合保健福祉センター
- 出務回数 72回 出務者数 154名
- ウ 実施団体 (一社)芦屋市歯科医師会
- 場 所 芦屋市保健福祉センター
- 出務回数 73回 出務者数 158名

(2) 地域・職域などを対象とした歯科保健指導の実施

健康長寿を実現するには、歯や口腔の健康を維持増進することが重要である。それぞれのライフステージに応じた適切な歯科保健指導を実施した。

ア 乳幼児、学童、妊産婦、成人、高齢者を対象にライフステージ別の歯科保健指導を実施した。

- (ア) こどもの歯の支援事業
 - 出務回数 11回 出務者数 11名
- (イ) 妊産婦歯科保健指導
 - 出務回数 5回 出務者数 5名
- (ウ) ティーンズへの歯科保健指導
 - 出務回数 4回 出務者数 8名
- (エ) 西宮市
 - 出務回数 226回 出務者数 706名
- (オ) (一社)芦屋市歯科医師会
 - 出務回数 49回 出務者数 147名
- (カ) (一社)宝塚市歯科医師会
 - 出務回数 21回 出務者数 37名
- (キ) 神戸市 フッ化物塗布モデル校実施
 - 出務回数 4回 出務者数 36名

イ 介護予防に関する歯科保健指導

口腔機能低下傾向にある高齢者を対象として、オーラルフレイル対策や誤嚥性肺炎の予防、重症化の予防を目的とした口腔健康管理を実施した。

- (ア) 西宮市 介護予防事業「西宮いきいき体操」

- 出務回数 121回 出務者数 123名
- (イ) 西宮市 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業
出務回数 32回 出務者数 32名
- (ウ) 芦屋市 フレイル予防事業(栄養(口腔機能))業務委託
出務回数 5回 出務者数 5名
- (エ) 神戸市 地域拠点型一般介護予防事業における介護予防講座
出務回数 82回 出務者数 82名
- (オ) 神戸市 フレイル改善通所サービスにおけるフレイル講話事業
出務回数 27回 出務者数 27名
- (カ) 神戸市 認知症支えあい推進事業
出務回数 19回 出務者数 19名
- (キ) (一社)兵庫県歯科医師会 在宅歯科医療連携室機能強化事業
出務回数 123回 出務者数 123名
- (ク) (公社)神戸市歯科医師会 訪問口腔ケア推進事業
出務回数 1493回 出務者数 1493名
- (ケ) 兵庫県 口腔健康管理地域支援リーダー登録事業
登録者数 16名(総数95名)

ウ 障がい者の歯科診療補助及び歯科保健指導

障がい者歯科診療に関する研修等により人材を育成し、歯科治療を行う歯科医師の歯科診療補助及び歯科保健指導に協力した。

- (ア) 実施団体 (公社)神戸市歯科医師会
場 所 こうべ市歯科センター
出務回数 14回 出務者数 23名
- (イ) 実施団体 (一社)芦屋市歯科医師会
場 所 芦屋市保健福祉センター
出務回数 49回 出務者数 147名

(3) 災害支援ネットワークの構築に関する事業

災害時において、歯科保健指導及び口腔ケアなどの活動を行う災害支援歯科衛生士の派遣および活動に関する調整・連絡を行うコーディネーターを育成した。また、他団体、他職種との連携を図りながら、効果的な支援活動を行うためのネットワークシステムの構築に努めた。

ア 災害支援歯科衛生士育成研修会

- (ア) 期 日 令和5年9月3日(日)
- (イ) 配信場所 兵庫県歯科医師会館
- (ウ) 開催方法 リモート開催
- (エ) 内 容 報告 ①JDAT(日本災害歯科支援チーム)研修
②日本歯科衛生士会との連携
情報提供 ①災害時行動指針2023年追補版・本会連絡網
②災害支援歯科衛生士の活動及び災害支援体制整備訓練
- (オ) 講 師 報告 ①本会 会長 高橋 千鶴
②本会 常務理事 野末 優子
情報提供 ①本会 常務理事 森田 好美
②本会 理事 山内 千代
- (カ) 参加者数 69名

イ 関連紙、冊子を通しての普及啓発活動を実施

- (ア) 「わたしの健口手帳」(簡易版) 発行部数 5,000部

ウ 災害支援体制実地訓練の実施

- (ア) 災害時伝達訓練
期 日 令和5年11月5日(日)
方 法 電話・メールでの伝達

登録回答 287名

(4) 口腔健康管理地域支援リーダー連絡会

口腔健康管理地域支援リーダーの地域での活動について、情報の共有を図り連携を深めることを目的に実施した。

ア 期 日 令和6年3月10日(日)

イ 配信場所 兵庫県歯科医師会館

ウ 開催方法 リモート開催

エ 参加者数 52名

(5) 「わたしの健康手帳」の研修事業

介護職等を対象に健口手帳の普及を図るとともに口腔のケアの方法や健口手帳活用の研修会を実地し、10圏域における事業展開に向けて説明会を実施した。

ア 期 日 令和5年4月～令和6年3月

イ 配信場所 兵庫県歯科医師会

ウ 開催方法 ①集合型
②リモート開催

③集合型

エ 内 容 ①連絡会

②研修会

③説明会

オ 参加者数 ①9名

②39名

③248名

カ 関連冊子 「わたしの健口手帳」(高齢者版) 発行部数 10,000部

公Ⅲ. 歯科衛生士の倫理の高揚・資質の向上に関する事業(定款第4条第3号)

1. 生涯研修

県民に安全・安心を提供するために、歯科衛生士の業務を確実・迅速に行い効果的・効率的に行う知識・技術の向上を図った。また、日本歯科衛生士会の第5次生涯研修制度における専門研修を実施するとともに認定歯科衛生士制度の受講資格を取得するために開催した。

(1) 専門研修会

ア 期 日 令和5年5月28日(日)

イ 場 所 兵庫県立のじぎく会館

ウ 開催方法 集合型

エ 演 題 令和の小児歯科保健指導

～その指導 時代に乗り遅れてませんか?

ブラッシュアップしながら子どもたちのお口を育てましょう～

オ 講 師 宮坂 乙美(歯科衛生士)

カ 参加者数 73名

(2) 認知症対応力向上研修会

ア 期 日 令和5年8月6日(日)

イ 場 所 兵庫県歯科医師会館

兵庫県立姫路労働会館

ウ 開催方法 集合型・サテライト配信

エ 演 題 ①「認知症を知ろう、診断と治療」

②「認知症を取り巻く多職種連携と社会資源」

オ 講 師 ①医療法人公仁会 姫路中央病院 理事長 東 靖人(医師)

②兵庫県立淡路医療センター 診療部 精神保健福祉相談員 三原 初穂

カ 参加者数 81名

(3) 歯科衛生士スキルアップセミナー

ア 期 日 令和5年8月27日(日)

イ 場 所 兵庫県歯科医師会館 兵庫県立但馬長寿の郷 兵庫県立姫路労働会館
ウ 開催方法 集合型・サテライト配信
エ 演 題 「力のコントロール～生活習慣の指導の大切さ～」
オ 講 師 医療法人筒井歯科医院
副院長 筒井 照子（歯科医師）

カ 参加者数 73名

(4) 兵庫県歯科医学大会 兵庫県歯科衛生士会講演会

ア 期 日 令和5年9月10日(日)
イ 配信場所 兵庫県歯科医師会館
ウ 開催方法 集合型
エ 演 題 「「なにか変？」に気づけるようになる口腔粘膜疾患の診方
～歯科衛生士の視点～」

オ 講 師 東京歯科大学口腔病態外科学講座
准教授 菅原 圭亮（歯科医師）

カ 参加者数 61名

(5) 高齢者歯科に関する研修会

ア 生涯歯科保健研修会

(ア) 期 日 令和5年9月24日(日)
(イ) 場 所 兵庫県立のじぎく会館
(ウ) 開催方法 ハイブリッド開催（集合型・リモート配信）
(エ) 演 題 ① 「「QOLの軸をなすコミュニケーション支援の実際」
構音障害・嚥下障害を伴う神経筋難病を中心とした生活支援
② 「食物物性と疾患特性を活かした摂食・嚥下支援について」

(オ) 講 師 ① 森ノ宮医療大学保健医療学部・総合リハビリテーション学部
作業療法学科 名誉教授 小林 貴代（作業療法士）
② はなす たべる くらす舎
代表 高田 耕平（言語聴覚士）

(カ) 参加者数 69名

(6) ペリオセミナー

ア 期 日 令和6年1月21日(日)
イ 場 所 兵庫県立のじぎく会館
ウ 開催方法 集合型
エ 演 題 「最新歯周病講座と今さら聞けない歯周治療に必要な検査のはなし」
オ 講 師 高木 直美（日本歯周病学会認定歯科衛生士）

カ 参加者数 42名

(7) ブラッシュアップセミナー

ア 期 日 令和6年3月17日(日)
イ 配信場所 兵庫県歯科医師会館
ウ 開催方法 リモート配信
エ 内 容 情報提供 災害歯科支援チーム JDAT の活動について
報 告 令和6年能登半島地震における災害歯科支援活動報告
グループワーク 歯科衛生士の職域ごとの災害支援に向けた準備
① 今回の災害支援活動で思うこと
② 自分の職場において平時から準備しておくべきこと

オ 講 師 情報提供 本会 副会長 岩崎 小百合
報 告 本会 理事 池崎 雅代

カ 参加者数 33名

2. 養成講座

(1) 卒後研修必修プログラム

歯科衛生士に必要な知識と技術の基礎力・応用力の充実を図り、安定した勤務状況をつくり離

職率を改善する。また専門性を高め、意識の向上を図り、スタッフ教育や後輩育成ができる歯科衛生士を輩出するために開催した。

ア. ベーシックコース

期 日	令和5年10月15日(日)	令和5年10月29日(日)
場 所	兵庫県立のじぎく会館	神戸市教育会館
研修内容	歯周治療～正しく行うための基礎知識～	薬の基本と基礎疾患
	う蝕予防管理	インプラント治療における歯科衛生士の役割
	歯科における基本的な感染対策と実際 ～歯科衛生士の立場から～	日常診療で役に立つ検査結果の見方
参加者数	38名	34名

イ. アドバンスコース

期 日	令和5年7月9日(日)	令和5年7月23日(日)
場 所	兵庫県立のじぎく会館	兵庫県立のじぎく会館
研修内容	小児の口腔機能と発達支援	兵庫県の歯科保健の現状
	障害のある患者への対応	災害支援歯科
	がん治療を支える歯科衛生士	在宅や施設での口腔機能管理について
参加者数	22名	21名

ウ. スペシャリストコース

期 日	令和5年12月3日(日)	令和5年12月17日(日)
場 所	神戸市教育会館	兵庫県立のじぎく会館
研修内容	ハラスメントをしない、 させないための環境づくり	歯科衛生士が担う口腔保健学の発展
	高齢者の栄養管理	指導計画立案の実際(講義)
	食支援に必要なマインド 歯科衛生士と一緒にできること	指導計画立案の実際(ワークショップ)
参加者数	12名	12名

(2) 復職支援講習会

歯科診療所等への歯科衛生士充足率を促進し、良質な歯科医療提供体制を構築するために就業を希望する歯科衛生士への支援を目的として開催した。

地 域	神戸市	洲本市
場 所	こうべ市民福祉交流センター	洲本市文化体育館
期 日	令和5年6月25日(日)	令和5年10月22日(日)
講 師	講義「近年の歯科衛生士の職域について」 兵庫県歯科衛生士会 専務理事 清水豊子 (1) プロローピング及びポジショニング講義と マネキン実習 兵庫県歯科医師会附属兵庫歯科衛生士学院 教務副主任 肥塚美奈子 (2) オーラルフレイルについて講義と各種機器 を使つての実習 神戸支部長 山口玲子	講義「近年の歯科衛生士の職域について」 兵庫県歯科衛生士会 専務理事 清水豊子 (1) プロローピング及びポジショニング講義と マネキン実習 兵庫県歯科医師会附属兵庫歯科衛生士学院 教務副主任 肥塚美奈子 (2) オーラルフレイルについて講義と各種機器を 使つての実習 淡路支部長 石田利奈

	兵庫県歯科衛生士センター紹介	兵庫県歯科衛生士センター紹介
参加者数	19名（会員7名 会員外12名）	5名（会員4名 会員外1名）

(3) 休日歯科診療出務者研修会

歯科医学的知識をレベルアップさせ、特に休日に行う診療に寄与するため研修会を開催した。

- ア 期 日 令和6年2月3日(土)
- イ 場 所 センタープラザ西館
- ウ 開催方法 集合型
- エ 演 題 「歯科における感染対策などについて」
- オ 講 師 神戸大学医学部附属病院 歯科口腔外科
助教 武田 大介（歯科医師）
- カ 参加者数 47名（神戸市・芦屋市・三木市）

3. 歯科衛生学術研究の振興に関する事業

日々の歯科衛生士業務における体験や研究及び学会発表者による相互研修の場をすることにより、知識を広め、意欲を増進し、スキルアップを図ることで、県民の健康増進に寄与するために開催した。また、研修会及び歯科衛生に係る学術研究の内容を参加者以外の歯科衛生士にも提供するため、学術誌を発行し配布した。

(1) 第10回兵庫県歯科衛生士会学術フォーラム

1部：歯科衛生学術研究会

- ア 期 日 令和5年11月19日(日)
- イ 場 所 兵庫県歯科医師会館
- ウ 開催方法 集合型
- エ 参加者数 会員41名・学生14名
- オ 内 容 以下の通り

演 題	所 属	発表者氏名
口呼吸がもたらす影響と改善方法	兵庫県立 総合衛生学院	竹中 彩乃
歯科衛生学科短大生によるボランティア活動および産学連携報告 3年間の活動の振り返りと今後の課題の検討	大手前短期大学 歯科衛生学科	飯尾 珠乃 石原 捺稀 一宮かづき 大田垣里歩 角谷 彩理
アメリカでの海外研修を通して学んだこと	神戸常盤大学 短期大学部 口腔保健学科	二上 陽 前原 海咲 中川 由菜 長谷 恵里
特別普及啓発事業を実施して 小規模介護福祉施設における口腔ケア技術研修の取り組みについて	但馬支部	大塚 陽子
地域歯科医院による医療的ケア児に対する 在宅歯科医療の実態報告	阪神南支部	伊藤 美咲
一般開業医における3年間の口腔機能低下症検査と指導の結果	北播磨支部	森 菜摘
新規開院から一年経過して	東播磨支部	黒宮久美子
COVID-19感染が契機と考えられた スティーブンスジョンソン症候群患者への口腔衛生管理の1例	神戸支部	片山めぐみ
在宅療養者の口腔の困りごとに対応する多職種連携の取り組み	中播磨支部	山口 恵
介護職と連携した誤嚥性肺炎予防のための在宅要介護者への 口腔ケアの定着に向けて	丹波支部	山内 千代

2部：基調講演・シンポジウム

- ア 期 日 令和5年11月19日(日)
イ 場 所 兵庫県歯科医師会館
ウ 開催方法 集合型
エ 演 題 「歯科衛生士の『キャリア』を考えよう
～これからの歯科衛生士に必要なキャリアアップの指標とは～」
オ 講 師 東京歯科大学市川総合病院 コ・デンタル部
大屋 朋子 (歯科衛生士)
カ 参加者数 33名 学生5名

シンポジウム・意見交換

所 属	シンポジスト	演 題
医療法人社団 タニダ歯科医院	初田 朋子	訪問診療に携わる 歯科衛生士の活動について
JCHO 神戸中央病院 歯科口腔外科	生田 美美	母と歯科衛生士と時々わたし ～ドタバタ work life～
兵庫県歯科衛生士会 中播磨支部	花本 陽子	MY ときめき DH LIFE

(2) 学術誌の発行

(公社)兵庫県歯科衛生士会学術誌 No.36 発行 令和6年3月

ア 発行部数 1110部

他Ⅰ. 会員育成及び連携・協力事業 (定款第4条第4号)

1. 会員拡大・管理・育成に関すること

(1) 支部との連携に関すること

ア 支部長会 令和5年7月30日(日)、令和6年2月4日(日)

イ 支部活動への助成

(2) 入会促進事業

さまざまな機会を通じて組織の拡大と強化を図った。

ア 地域活動歯科衛生士及び未入会歯科衛生士の調査と入会促進

イ 新卒歯科衛生士へ入会促進のために歯科衛生士養成機関を訪問した。

(ア) 神戸常盤大学短期大学部 令和6年2月 6日(火)

(イ) 姫路歯科衛生専門学校 令和6年3月 4日(月)

(ウ) 兵庫県立総合衛生学院 令和6年3月 5日(火)

(エ) 兵庫県徳誠会歯科衛生士専門学校 令和6年3月 6日(水)

(オ) 大手前短期大学 令和6年3月 8日(金)

(カ) 兵庫県歯科医師会附属兵庫歯科衛生士学院 令和6年3月 8日(金)

ウ 入会案内の作成と配布

エ 「兵衛学生だより」 令和6年3月 発行部数1,100部

オ 学生会員表彰 5名

(3) 会員表彰

功労賞 1名 永年精励賞 10名 歯科衛生士賞 7名 感謝状 1名

(4) 会報「兵衛だより」発行

ア 発行部数 第86号 1,350部 (令和5年 7月)

第87号 1,220部 (令和5年11月)

第88号 1,220部 (令和6年 2月)

2. 関係機関との連携・協力に関すること

(1) 兵庫県歯科衛生士センター

兵庫県下に在住もしくは勤務する歯科衛生士が、地域や職場でいつまでも働くことができる支援を目指し運営している。また、歯科衛生士の人材育成等を行い、県民に安全・安心な歯科保健医療を提供するために実施した。

ア 歯科衛生士の登録（バンク登録）登録者数 940名（令和6年3月31日現在）

イ 人材の育成

（ア）第1回兵庫県歯科衛生士センター研修会

- ・期 日 令和5年11月23日（日）
- ・場 所 兵庫県歯科医師会館
- ・開催方法 ハイブリッド開催（集合型・リモート配信）
- ・演 題 「歯科衛生学教育の現況とフッ化物応用の新しい考え方」
- ・講 師 東京歯科大学
名誉教授 眞木 吉信（歯科医師）
- ・参加者数 98名

（イ）第2回兵庫県歯科衛生士センター研修会

- ・期 日 令和6年2月25日（日）
- ・場 所 兵庫県歯科医師会館
姫路西播磨地場産業センター
兵庫県立但馬長寿の郷
- ・開催方法 集合型・サテライト配信
- ・演 題 ①「在宅歯科訪問～準備編～」
②「在宅歯科訪問～実践編～」
- ・講 師 ① 栗原 知子（歯科衛生士）
② 清水 豊子（歯科衛生士）
- ・実 習 口腔ケア実技実習（実技・マネキン実習）
- ・参加者数 81名

ウ 離職防止・復職支援

エ 相談・情報提供

（ア）相談件数 17件

（イ）情報提供件数 312件

オ 市町等の事業紹介・調整

歯科衛生士未配置市町における歯科保健体制の整備

カ ひょうご歯科衛生士人材センター無料職業紹介所

キ 災害支援

災害支援歯科衛生士育成研修会の共催（兵庫県歯科衛生士会との合同開催）

ク 歯科衛生士養成機関との連携

（2）ひょうご歯科衛生士人材センター無料職業紹介所

歯科衛生士の職域の拡大に伴い、求人側の要請に応じるためにセンターを運営した。

また、未就業歯科衛生士を就労支援し雇用促進を行うことで、県民への口腔の健康の維持向上につなげた。

ア 求人情報の募集 求人件数 218件（103か所）

イ 就労希望歯科衛生士の募集 求職件数 20件

ウ 雇用に関する相談、支援

エ 産業歯科健診補助及び歯科保健指導に係わる事業への対応

（ア）（株）ファーム・ネットワーク・マネジメント

出務回数 4回 出務者数 7名

（イ）一般財団法人サンスター財団

出務回数 1回 出務者数 1名

（ウ）地方職員共済組合兵庫支部

出務回数 8回 出務者数 8名

（エ）その他

出務回数 86回 出務者数 166名

（3）（一社）兵庫県歯科医師会との連携 適時

令和6年能登半島地震へのJDAT（災害歯科支援チーム）ボランティア

- ア 期 日 令和6年2月7日(水)～10日(土)
- イ 場 所 石川県輪島市
- ウ 内 容 災害歯科保健支援
- エ 出務者数 2名

(4) (公社) 日本歯科衛生士会との連携

- ア 日本歯科衛生士会代議員会 令和5年 6月11日(日)
- イ 近畿ブロック連絡協議会 令和5年11月26日(日)
- ウ 日本歯科衛生士会会長会 令和6年 2月11日(日)
- エ 歯科衛生推進フォーラム 令和6年 2月12日(月)

(5) 関係団体との連携

- ア 小児保健協会 1回
- イ プライマリ・ケア協議会 2回
- ウ 医療職団体協議会 1回
- エ 訪問看護ステーション連絡協議会 1回

(6) 養成機関との連携 適時

- ア 兵庫県立総合衛生学院
- イ 兵庫県歯科医師会附属兵庫歯科衛生士学院
- ウ 姫路歯科衛生専門学校
- エ 神戸常盤大学短期大学部・神戸常盤大学
- オ 大手前短期大学
- カ 兵庫徳誠会歯科衛生士学校
- キ 神戸リハビリテーション衛生専門学校
- ク 神戸総合医療専門学校

3. 会 議

- (1) 総 会 令和5年6月18日(日) 第12回定時総会
- (2) 理 事 会 令和5年5月13日(土)、7月8日(土)、9月9日(土)、
11月11日(土)、令和6年1月13日(土)、3月9日(土)
- (3) 三 役 会 令和5年4月1日(土)、4月30日(日)、6月3日(土)、7月1日(土)、
8月5日(土)、10月7日(土)、11月4日(土)、12月2日(土)、
令和6年1月6日(土)、2月3日(土)、3月2日(土)
- (4) 常務理事会 令和5年4月1日(土)、6月3日(土)、8月5日(土)、12月2日(土)、
令和6年2月3日(土)
- (5) 常任委員会 年4回を基準にして開催
- (6) 特別委員会 令和5年10月21日(土)、11月4日(土)、12月16日(土)

4. 監 査

- 監 査 会 令和5年4月28日(金)、11月1日(水)